

\*\*\*\*\*

## 折り紙でつくる七夕飾り

\*\*\*\*\*

〈 栗 原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨           七夕の伝統行事にちなみ折り紙で七夕飾りを作る。
- 期           間       平成30年6月30日（土）
- 時           間       午後1時30分～午後3時30分   （計2時間）
- 対 象 ・ 定 員       市内在住の幼児・小学生と保護者   20組
- 参 加 者           22人
- 講           師       栗原公民館サークル新座折り鶴の会講師・  
日本折り紙協会講師   本多 秀子  
アシスタント           浦田 幸恵  
アシスタント           三津橋 順子
  
- 事 業 内 容       七夕の笹飾り（折り紙で作る織り姫・彦星・提灯）を折り紙  
で折り、笹を各自持ち帰り、家で飾る。

### ○ま と め

七夕飾りの彦星・織り姫・流れ星・提灯を2時間の中で4個の作品を折った。講師の折り方を一つ一つ聞きながら丁寧に織り上げ時間内に休憩をはさみながら全員が七夕飾りを折る事が出来た。彦星と織り姫の目は、色鉛筆やペンで思い思いに書きそれぞれの顔に仕上がった。親子で折っていく中で、わからない所をお母親に聞きながら折り紙を折る姿が見られた。



\*\*\*\*\*

## 親子そば打ち体験

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 夏休み中の親子を対象にそば打ちを体験。
- 期間 平成30年8月22日（水）
- 時間 午前10時～午後0時30分（計2時間30分）
- 対象・定員 市内在住の親子・10組
- 参加者 8組 18人
- 材料費 1,500円
- 講師 満留賀 店主・柴田忠尾、他アシスタント5名
- 事業内容 講師がそばの打ち方、切り方を実演し、それを全員が見学した。  
その後、それぞれの親子が講師の指導を受けながらそばを打った。  
打ったそばは、その場で茹でて試食した。

### ○まとめ

夏休みにお父さんやお母さんと一緒にそばを打って食べようという事で、本格的なそば打ち体験を親子で行う事が出来た。

始めに、そば打ちの道具や材料の説明があった。講師は、お手本を見せそば粉のかき混ぜ方の手先や指先の扱い方、また、水を入れるタイミングを実演しながら生地の変化のポイントを丁寧に説明した。

子ども達は、そば粉からそばの生地が出来るまでそして、生地を麺棒で伸ばす伸ばし方や生地の切り方を学び、各班ごとに担当のアシスタントがつき実際に親子でそばを打っていった。出来上がったそばを「家族に食べさせてあげたい。」「お父さんやお母さんと一緒にそばを打って、食べて美味しかった。」などの感想を発表した。

夏休みに親子で、楽しい思い出が出来た。

\*\*\*\*\*

## 親子とうもろこし収穫

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 収穫体験を通じ、食について考えると共に地元の農業について考える機会としたい。
- 期間 平成30年7月14日(土)
- 時間 午後2時～午後3時 (計1時間)
- 対象・定員 市内在住の親子・20組
- 参加者 親子26組 74人
- 参加費 一家族1,000円
- 講師 農業 原井 正治
- 事業内容 公民館ロビーに午後1時50分に集合し受付を行い、畑まで歩いて移動した。はじめに原井氏からとうもろこしを収穫するまでの期間や収穫方法などの指導があり、とうもろこし畑にて収穫体験を行った。収穫後、とうもろこしの調理や保管方法の説明があった。その後、予め準備しておいたとうもろこしを試食した。

### ○まとめ

晴天で最高気温が35℃を超える猛暑だった。

原井氏のご厚意により定員より多い26組参加することができた。

子どもがとうもろこしを収穫している様子をスマートフォンなどに収め、親子でとうもろこし収穫を楽しんでいた。

今回も「味来」という品種で甘みが強く美味しく、収穫後、事前に蒸しておいたとうもろこしを喜んで試食していた。



\*\*\*\*\*

## 親子さつまいも掘り

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 新座の地元農家の畑での収穫体験を通し食について考えるとともに、地元の農業について考える機会とする。
- 期間 平成30年10月13日(土)
- 時間 午後2時～午後3時 (計1時間)
- 対象・定員 市内在住の親子・12組
- 参加者 親子20組 53人
- 参加費 一家族600円
- 講師 農業 原井 正治
- 事業内容 公民館に午後1時50分に集合し、原井さんの畑まで歩いて行き、開講式を行った後、さつまいもの管理や調理方法など説明していただいた。事前にさつまいものツルを刈ってもらった場所で「べにあずま」3株を割り当て、親子で楽しく掘りあげた。その後、予め蒸かしたさつまいもを参加者で試食し、収穫したさつまいもをそれぞれ持ち帰った。

### ○まとめ

講師の原井さんが予めツルを刈っておいてくれたので、すぐに掘り始めることができた。

初めて掘る子どももいて、さつまいもを掘って喜んでいる姿を家族がカメラやスマホなどで撮影していた。

試食用のさつまいもを午前中に蒸して置き、作業が終わった後、参加者が試食した。

今年は、さつまいもの生育が良く大きなさつまいもを掘ることができ、掘ったさつまいもを喜んで持ち帰っていた。



\*\*\*\*\*

## 習字教室

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 字の美しい形のとり方や筆の使い方の基本を習って、夏休みにでている習字の宿題を解決する。
- 期間 平成30年7月24日(火)
- 時間 午前10時～午前11時30分 (計1.5時間)
- 対象・定員 市内の小学生の児童 20人
- 参加者 13人
- 講師 元栗原公民館サークル講師 田尻 蓉子  
ほかアシスタント3人
- 事業内容 課題は、3年生は「おりがみ」、4年生は「太陽」、5年生は「晴れた空」、6年生は「出発の朝」。手本を見ながら練習し、字の大きさや、字のバランスのとり方が上手いいかない子どもに指導していただいた。  
自分の名前の書き方も指導してもらい学校へ提出する習字を仕上げた。

### ○まとめ

書く前に一文字の大きさを決めるために半紙の折り方や、墨をつけすぎないようにと教えていただいて書き始めた。

講師から手を取り指導してもらっている子どももいた。

「二度書きはだめ」、「大きく書くように」、「よく手本を見て」など指導を受け上達していった。

第四小学校の子どもは、「下水どう」の手本も持ってきて練習していた。



\*\*\*\*\*

## 書き初め教室

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 字の美しい形のとり方や筆の使い方の基本を習って、冬休みにでている書き初めの宿題を解決する。
- 期間 平成30年12月26日(水)
- 時間 午前10時～午前11時30分 (計1.5時間)
- 対象・定員 市内の小学3・4・5・6年生の児童 20人
- 参加者 18人
- 講師 元栗原公民館サークル講師 田尻 蓉子  
ほかアシスタント5人
- 事業内容 今年の課題は、3年生は「あさひ」、4年生は「やる気」、5年生は「深い学び」、6年生は「茶畑の里」。

### ○まとめ

3年生7人、4年生7人、5年生1人、6年生3人の参加だった。

講師とアシスタント5人で指導していただいた。

講師から「紙からはみ出さないように」、「持ち上げてはねて」など一対一で丁寧に指導してもらいを受けて、書き上げた。一番よく書けた作品を学校の提出用、二番目によく書けた作品を公民館に提出し、ロビーに貼り出した。子ども達は、熱心に取り組み書き上げていた。



\*\*\*\*\*

## LED工作教室

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 ペットボトルを使用し、ペットボタルを作成し、環境問題について考える機会とする。
- 期間 平成30年7月25日(水)
- 時間 午前10時～午前11時30分 (計1.5時間)
- 対象・定員 市内の小学生の児童 20人
- 参加者 13人
- 講師 サンケン電気(株) 管理本部 CSR室 関裕一 他7人
- 事業内容 新座市内にあるサンケン電気(株)の協力で、地球環境問題とLEDについて学ぶ。

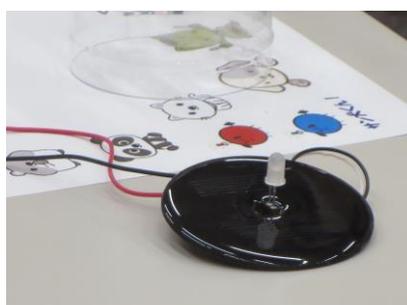
### ○まとめ

前半は「省エネについて考えてみよう」の講義で、地球環境問題（地球の平均気温の上昇、日本の平均気温の変化、気温の上昇の予測）、三択クイズで地球温暖化について学び、LED（発光ダイオード）について白熱球との違いなどをプロジェクターを使用しての説明があり、子どもたちは熱心に聞いていた。

後半は、「LEDペットボタル作り」で、透明なシートにマジックで好きな絵や文字を使って「夢」を描き、ペットボトルの中で光るLEDを9色（緑、水色、青、紫、桃、黄色、橙、赤、白）の中から選びペットボタルを組み立て完成させた。

最後に出来あがったペットボタルを星になるようにボードにはめ込んで光らせ、子どもたち全員で記念写真を撮った。

庭にさすキャップのプレゼントもあり出来あがったペットボタルを喜んで持ち帰った。



\*\*\*\*\*

## 夏休み親子地球観察隊

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 小学生の親子を対象に自然に触れ、環境を守る大切さについて学ぶ
- 期間 平成30年8月7日(火)・8日(水)・9日(木) (計3回)
- 時間 1日目 午前8時30分～午後4時  
2日目 午前9時30分～正午  
3日目 午前9時30分～正午 (計12.5時間)
- 対象・定員 市内在住小学生の児童と保護者・20組40人
- 参加者 親子16組 33人 参加延べ人数86人
- 講師 荻原 洋志・櫻 博子(環境教育支援ネットワークきづき)
- 事業内容
  - 1日目 館外学習(積水ハウス住まいの夢工場 ゼロエミセンター見学)
  - 2日目 自然を生かした木の実を使った工作
  - 3日目 エコや環境についての学習
- まとめ

地球全体の環境教育を考えてみようということで始まった夏休み親子地球観察隊、1日目は、茨城県古河市の積水ハウス住まいの夢工場「ゼロエミセンター」へ館外学習に行った。免震・耐震の体験、省エネの実験で地球温暖化について、巣箱作りなどで環境について学習した。2日目は、どんぐり、まつぼっくりなどの自然な木の実を使い、工作を行った。3日目は、台風のため川遊びは中止になり、パワーポイントを使い昆虫の生態について学んだ後、エコライフデーのチェックシートを記入し、ゴーヤの葉の形をした紙に普段エコを行っている事を記入し、紙袋で作成したエコの木に貼り付け発表した。最後は子ども達に修了書を渡し、親子で楽しむ事が出来た1日だった。

3日間を通して町内会の方、大学生、学区内の中学生のお手伝いを頂いた。

参加者からは、「親子で遠出をする企画は、ありがたかった。1日目の館外学習は、緊張もしたが、柔軟に対応してもらい良かった。虫が苦手だったが、映像に興味を持った。今度、身近な虫を観察したい。」との声を頂いた。親子で楽しむ事が出来た3日間だった。



\*\*\*\*\*

## C02 削減緑のカーテンで夏を涼しく

\*\*\*\*\*

〈 栗原 公 民 館 〉

- 開 設 趣 旨            グリーンカーテンを作る方法を学び、環境について考える。
- 期                    間                    平成30年6月14日（木）
- 時                    間                    午前10時～正午    （計2時間）
- 対 象 ・ 定 員        市内在住又は在勤の方・15人
- 参 加 者            10人
- 講                    師                    環境まちづくり地域協議会 in にいざ  
                         櫻 博子、荻原 洋志、市野 進
- 事 業 内 容            暑い夏を楽しく乗り切る方法として、ゴーヤでグリーンカー  
                         テンの作り方を学び、環境対策について考える。

### ○ま と め

ロビーにスクリーンを設置しプロジェクターからゴーヤの育て方などを投影し実施した。肥料のやり方や芯の摘み方など具体的なゴーヤの栽培方法を教えていただいた。

また、受講者がエコライフチェックシートを記入し、日頃のエコライフについて見直しを行った。

受講者からは、芯の摘み取り方や水のあげ方などの質問があった。

最後にゴーヤの苗をもらい、C O 2 削減を市民に広めていくために有益な講座となった。



\*\*\*\*\*

## 世界の文学を通しての人間探究

### 「ハックルベリー・フィンの冒険」「ビラヴド」

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 アメリカ文学を通してアメリカ社会について深く知る。
- 期間 平成31年1月11日～25日 毎週金曜日 (計3回)
- 時間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 28人 参加延べ人数67人
- 講師 東京都立大学名誉教授 村山淳彦
- 事業内容 マーク・トウェイン作「ハックルベリー・フィンの冒険」、トニ・モリソン作「ビラヴド」を通して、アメリカ社会について考える。

#### ○まとめ

ハックルベリー・フィンの冒険は、南北戦争以前の1840年代～1850年代、主人公ハックが13、4歳の冒険小説。ハックの冒険だけでなく黒人奴隷ジムの冒険でもある。奴隷の逃亡は死罪の時代、2人で自由を求めてミシシッピ川を下る。南北戦争が終わって奴隷制度はなくなったが、人種差別が100年以上に渡って続いている。黒人をもう1回開放しなければならないという事を風刺して書いている作品である。

ビラヴドの作者トニ・モリソンはアメリカ黒人初のノーベル文学賞受賞者で数少ない黒人大学のハワード大学卒業。ビラヴドは話が過去へ戻るフラッシュバックを用いていて、女性の奴隷は、男性の奴隷にはない困難で、無理に産まされた子に愛情がもてず、売り飛ばされる子に執着できない。女性の奴隷とはどういうものかを描いている作品である。

33人の申込者で参加者は28人と少なかったが、受講者からは、「村山先生の講座は毎年本当に楽しみにしている。」、「現代に渡って、人権問題が続いていることを実感した。」等の声が寄せられた。



\*\*\*\*\*

## 人権学習

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 人権問題について考える
- 期間 平成30年10月20日(土)
- 時間 午前10時30分～正午(計1.5時間)
- 対象・定員 公民館活動サークルの方・71人
- 参加者 17人
- 教材 「わっかカフェへようこそ」約35分
- 事業内容 第2回利用者懇談会の後半に生涯学習スポーツ課から借りたDVDを視聴した。
- まとめ

「わっかカフェ」を通して、自分も相手も大切にすることができる、自分なりの「心のよりどころ」をつくりながら、自分には何ができるのかを考えるため、三部構成のドラマにしている。

インターネットによる人権侵害「三色団子の向う側」では、初めてスマートフォンを持つ中学生が主人公で、SNSで思いがけないところから個人情報もれ、悪用されたり、軽い気持ちで拡散した個人情報は、人権侵害などトラブルにならないよう注意しようという内容。

高齢者の人権「世代をつなぐ柏餅」では、高齢者の生きがいと若い世代の交流がはじまり、互いにこの町で暮らし続ける力となる内容。

外国人の人権「コンペイトウの来た道」では、日本に住む外国人ときっかけをつくり、まずは互いに知り合いになるところから始まり外国人とどう向き合っていけばよいかという内容だった。

人権を日常生活の問題として考える機会となった。

\*\*\*\*\*

## 「スプリングコンサート」

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 フルートとピアノで奏でるフランスの名曲
- 期間 平成30年4月26日(木)
- 時間 午後2時～午後4時 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 88人
- 講師 フルート 小泉 浩  
ピアノ 大津 直子
- 事業内容 「フルートとピアノで奏でるフランスの名曲」
- まとめ

申し込み開始から1日半で定員以上の申し込みがあった。当日は、イスを123脚を用意し、事前予約89名のうち71名が参加。当日の受付が16名で全来場者は88名だった。午後1時30分開場、午後2時開演で、2部構成で1部は、グノーのセレナーデ・ドビュッシーの亜麻色の髪の乙女(ピアノソロ)・ジョリベの呪文(フルートソロ)等8曲、2部では、ドビュッシーの月の光(ピアノソロ)・オネゲルのめやぎの踊り(フルートソロ)等7曲演奏した。曲と曲の間に詳しい曲にまつわる説明があり、受講者は、講師の話に聞き入っていた。アンコールもあり盛大に終了した。



\*\*\*\*\*

## めだか学級 保育付講座

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 子育てについていろいろ学ぶなかで、仲間作りのきっかけとする。
- 期間 平成30年5月11日～6月29日 毎週金曜日 (計8回)
- 時間 午前10時～正午 (計16時間)
- 対象・定員 市内在住の2, 3歳児とその保護者 20組
- 参加者 20組40人参加延べ人数234人保育延べ人数101人
- 事業内容

回	日時	内容	講師
第1回	5月11日(金)	開校式 親子でリトミック	栗原公民館サークル まめちゃんズ 林 篤子
第2回	5月18日(金)	子どもと絵本	中央図書館司書 上野 邦晴 窪寺 千鶴子
第3回	5月25日(金)	園バックを作ろう	栗原洋裁クラブ
第4回	6月1日(金)	簡単でおいしいおやつ作り	武蔵野友の会
第5回	6月8日(金)	リンパマッサージ	にいざほっとぷらざサークル 小林 和子
第6回	6月15日(金)	乳幼児の健康管理	保健センター 保健師 鎌田 真衣
第7回	6月22日(金)	一緒に考えよう子育ての 大切さ	埼玉県家庭教育アドバイザー 若田 晴美
第8回	6月29日(金)	こども110番	子ども110番相談員 顧問 にしがはちだい

### ○まとめ

子育てをする中で親としての役割と家庭での親子の関係など学ぶ機会となった。公民館の中を探検して子どもの目線にたつ講座もあった。母親同士との話し合いは、一緒に子育てをする仲間意識を深める事が出来た。講座の内容は、手作り園バック、おやつ作りやリンパマッサージなど色々な体験がありバラエティにとんでいて、楽しく勉強になったとの感想が多かった。



\*\*\*\*\*

## 正岡子規 人と思想

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 正岡子規の人と思想について考える。
- 期間 平成30年9月4日～25日 毎週火曜日 (計4回)
- 時間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 59人 参加延べ人数178人
- 講師 順天堂大学講師 金子 元
- 事業内容 明治の俳人、歌人である正岡子規の人物像と思想について解説してもらう。
  - 第1回 俳句と短歌：「短詩型文学」の可能性  
明治〈第二世代〉と文学  
正岡子規の青春
  - 第2回 子規の小説、子規のナショナリズム
  - 第3回 子規の俳句革新運動
  - 第4回 子規の短歌革新運動

### ○ま と め

第1回は、正岡子規が明治の混乱期（第二世代）の文学者（内村鑑三、森鷗外等）の時代に成長し、誕生から帝国大学時代に夏目漱石と出会うまで、第2回から第4回は初めに前回のおさらいの講義をしていただき、幸田露伴の「風流仏」を読んで小説家になりたいと思ったが、露伴に出版を拒否され、詩歌の道に進み、政論記者、陸羯南（くが かつなん）により日本新聞に勤めることとなる。

古今和歌集の俳諧歌（はいかいが）を松尾芭蕉が俳風をこえて、蕉風俳諧をつくる。

子規は、新聞「日本」の文苑に俳句欄を連載し、俳句革新に着手する。

27歳の時、家庭向き新聞「小日本」を創刊し、31歳で短歌革新に着手する。35歳で亡くなるまでについて講義していただいた。

最後に、子規の俳句、短歌を紹介していただいた。

参加者からは、「単に子規の経緯をなぞるのではなく、子規の考え方の本質について、よく分かってきた気がする」「子規の人生と思想について理解できた」などの感想が寄せられた。

\*\*\*\*\*

## 歴史人物に学ぶ 「荻野吟子・津田梅子・後藤新平」

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 明治に活躍した3人について考える。
- 期間 平成30年10月9日・16日・23日 火曜日 (計3回)
- 時間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 58人 参加延べ人数145人
- 講師 読売・日本テレビ文化センター講師 鈴木 貞夫
- 事業内容 第1回 荻野吟子  
第2回 津田梅子  
第3回 後藤新平

### ○まとめ

第1回では、荻野吟子は俵瀬村（現熊谷市）生まれで16歳で結婚をする  
が、19歳で淋病を夫にうつされ離婚。順天堂病院に入院し治療をきっかけ  
に女医になる事を決意する。34歳で開業試験に合格し、日本の女性医師第  
1号となり、62年の波乱の人生を送る。

第2回では、津田梅子は満6歳で岩倉使節団に参加し、アメリカの夫婦に  
7歳から18歳まで育てられる。帰国後、華族女子学校で英語教師となる。  
24歳で再びアメリカに渡り、プリンナー大学で学び、帰国後、女子英学塾  
（津田塾大学）を設立し、女性の社会進出に影響を及ぼす。

第3回では、後藤新平は、23歳で愛知県病院（現名古屋大学附属病院）  
病院長となり、その後台湾に渡り、上下水道の整備をしたり現代に生きる都  
市づくりや人材育成など長期を見据えた仕事をした。通信大臣等政治家であ  
り東京放送局（現NHK）初代総裁も勤めた。

受講者からは、「県内に在住していて、これほどの人物がいたことを改め  
て思い出させてもらい感銘した」、「現代日本を築いた先人を取り上げ、歴  
史を振り返ることができた」などの声が寄せられた。



\*\*\*\*\*

## 健康講座

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 健康について学ぶ。
- 期間 平成30年11月6日・13日火曜日 (計2回)
- 時間 午前10時～正午 (計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 34人 参加延べ人数55人
- 講師 日本成人病予防協会認定講師 上原 道康
- 事業内容 高齢者の食事と健康
- まとめ

高齢者の食事と健康を2回にわたっての講義だった。1回目は、講義前に希望者がAGE（終末糖化産物）の測定を行い自分の老化年齢を知ることができた。

高齢者は加齢と共に免疫力が下り健康を維持するための食事に配慮する必要がある。コンビニ等で売られているおにぎりは、油やナトリウムが多く含んでいる為、注意する。ナトリウムを含む食卓塩100gは、血圧をあげる。脳卒中を防ぐ方法やAGE（糖化）を減らすには、夜一杯の白湯を寝る1時間前に飲むと血液をさらさらにする事などを学習した。

2回目は、食事にこ（米）、ま（豆）、ご（ゴマ）、た（卵）、ち（チーズ）は、やさしいこ（酵母食品）、に（肉）の栄養を取り入れると良い。肉に含まれるアルブミンが認知機能低下を防ぐことなど、老化予防を目指した食生活指針を教えて頂いた。



\*\*\*\*\*

## 古事記を学ぶ

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 日本 の 成り立ち古事記について解説する。
- 期間 平成30年6月5日～6月26日 毎週火曜日 (計4回)
- 時間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 79人 参加延べ人数264人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容

- 第1回「猿女の君・邇々芸の命(ニニギノミコト)の結婚」
- 第2回「海神の国訪問」
- 第3回「鵜葦草葦不合命(ウカヤフキアヘズノミコト)、  
神武天皇」
- 第4回「高倉下、八咫鳥、宇迦斯、久米歌」

### ○ま と め

1回目に平成29年度までの講義の概要を話していただいたので、今回の講義から参加した方にも分りやすかった。

今回は、邇々芸の命が木花之佐久夜毘売(コノハナサクヤビメ)と結婚し、木花之佐久夜毘売が出産時に自分の子でないのではと疑ったが泥で固めた八尋殿を作り、火を放ち火の中で火照命(ホデリノミコト：海幸彦)を出産した。邇々芸の命の子ども海幸彦、山幸彦が持っている釣り針と弓矢を取り換えたが、山幸彦は海幸彦の針を無くして、海へ探しに行ったところ豊玉毘売命(トヨタマビメ)と出会い結婚し、子どもを設けたが、出産時は見ないでと言われたが見てしまったら実はワニで、恥をかかされたと自分の家に帰ってしまった。子どもの鵜葦草葦不合命を妹の玉依毘売命(タマヨリビメノミコト)が育てる。鵜葦草葦不合命は、おばの玉依毘売命と結婚し、神武天皇が生まれた。神武天皇は、日向から東へ向かい、国作りの一歩を踏み出すまでの講義をしていただいた。

「古事記」と「日本書紀」の神様の名前の違いや、行啓は、天皇の家族、行幸啓は天皇・皇后両陛下が外出する事をいう等の話も取り入れて講義していただき、受講者は毎回楽しみに受講していた。

「先生の声も大きく黒板の字も大きく読みやすい」、「先生の話は分かりやすい」などの声が寄せられた。

\*\*\*\*\*

## 論語を学ぶ 9

\*\*\*\*\*

〈 栗原公民館 〉

- 開設趣旨 孔子の人となりと思想について学ぶ
- 期間 平成31年2月5日～2月26日 毎週火曜日 (計4回)
- 時間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 68人 参加延べ人数225人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容 孔子とその弟子達との問答から儒教の教えを伝える「論語」について取り上げた講座の9回目になる。

第1回 「礼」

第2回 「父母」

第3回 「孝」

第4回 「敬」

### ○ま と め

第1回目の2月5日は、前季(平成30年2月)のまとめ「言」「詩」「礼」について講義していただき、前季の続きの「礼」では自分に打ち勝つ礼ができる人が仁。一日であつてもわがままな心を礼に帰れば天下は仁愛に満ちたものになるという講義。

第2回から第3回は前回のまとめ、第4回は今期のまとめを講義していただき、第2回は「父母」では賢い人を認め父母に仕えましょう。殿様に仕えて、嘘をつかずまことを言う人は無学と謙遜しても学問がある人がいると講義いただく。

第3回「孝」では若者は家庭では親孝行をして社会に出れば、先輩を敬いなさい。慎み深く広く皆を愛して仁を親しみ、上の余力があつたら学問を学びなさいと講義していただく。

第4回「敬」では普段からだらけていない、仕事をする時も慎重で人と交際する時も真面目で野蛮な国に行つても忘れてはいけないなどの講義をしていただいた。

受講者からは、「親孝行について学べた」、「今、生活する上で人間生活にととても役立つ」などの声が寄せられた。

\*\*\*\*\*

## 歴史に学ぶ（前編）

### ～信長・秀吉の武将への「ふるまい」「おもてなし」を探る～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 信長・秀吉の武将への「ふるまい」「おもてなし」を探る

○期間 平成30年11月16日・30日・12月7日・14日

毎週金曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人

○参加者 83人 参加延べ人数270人

○講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫

○事業内容 「草履取り」から関白へその道程を探る。

○まとめ

1回目は、摂政と関白の違いや秀吉が木下藤吉郎から羽柴（筑前守）、平（従三位権大納言）、藤原（関白）、豊臣（太政大臣）を賜るまでの過程、五摂家についての講義。

2回目は、「太閤素生記」に秀吉の出身、家柄が記されている。秀吉が信長に付き、色々な話を聞き茶の湯を勉強したいと千宗易に習う。近衛家に1日だけ養子になり近衛姓をもらい関白になるなどについての講義。

3回目は、信長の命により中国地方の鳥取城、三木城、高松城の三城を秀吉が兵糧攻めや水攻めにより落城させる。秀吉の茶会には、官位の高い家康、利家の順で呼ばれたなどについての講義。

4回目は、後陽成天皇から秀吉が関白太政大臣に命ぜられ、天皇の行幸の迎え方や饗宴などについて講義していただいた。

受講生からは、「新たな歴史観を学習できた」、「学生時代に学んだ織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の人物像や政治に加えてあらたな面を知ることができ、歴史の深さ、面白さを学ぶことができた」などの声が寄せられた。



\*\*\*\*\*

## 歴史に学ぶ（後編）

### ～信長・秀吉の武将への「ふるまい」「おもてなし」を探る～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 おもてなしの茶会と利休切腹の謎について学ぶ。
- 期間 平成31年2月1日・8日・15日・22日 金曜日  
(計4回)
- 時間 午前10時～正午(計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 84人 参加延べ人数263人
- 講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫
- 事業内容 昨年11月の前編の続きで関白秀吉、おもてなしの茶会と利休切腹の謎について取り上げた。
- まとめ

黄金の茶室で禁中茶会（正親天皇がお客様）、大阪城での大茶会（大名が40人位集まる）、名護屋、黄金茶室（朝鮮出兵の時、大名に飲ませる）を行う。秀吉は、黄金の茶碗を使用し利休は昔ながらの黒の茶碗を使用し、秀吉と対立し、利休のいない時の茶会には食事が付き、天正18年には利休の茶会がなくなる。

「御もてなし」の茶会では本膳（3品）、二の膳（5品）、三の膳（7品）をふるまう。

第4回到講師の小澤先生の実家にある秀吉が毛利に送った貴重な手紙を見せていただいた。

受講者からは、「秀吉と利休のそれぞれの茶会に対する考え方、おもてなしの意義や葛藤について学ぶ機会となった」、「関白の事、利休の事が少しずつわかった」などの声が寄せられた。



\*\*\*\*\*

## 歴史街歩き

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 「論語を学ぶ」の受講者を対象に孔子に関連する歴史や史跡について散歩をしながら学ぶ。
- 期間 平成31年3月5日（火）
- 時間 午前10時～午後3時（計5時間）
- 対象・定員 「論語を学ぶ」の受講者の中・25人
- 参加者 25人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋  
東京女子大学非常勤講師 金子 元
- 事業内容 午前10時に有楽町線新富町駅改札前に集合し、築地本願寺、築地場外市場、築地市場跡、波除稲荷神社、外国人居留地跡、住吉神社、アーバンドック、豊洲市場等を巡り午後3時にゆりかもめ市場前駅で解散した。

### ○ま と め

「論語を学ぶ」の受講者を対象に都内の歴史散歩をして先生との交流を図る目的も兼ねて「築地市場と豊洲市場の〈今〉を知る」と題して実施。当日は、天気も良く歴史散歩をするのに丁度良い日となる。

築地本願寺、築地場外市場、築地市場跡、波除稲荷神社、外国人居留地跡、住吉神社、佃天台子育て地蔵尊を見学後、月島で自由昼食を取り午後は、アーバンドックを通り豊洲市場を見学し市場前駅で解散した。

参加者からは、「初めて豊洲市場を見学した」「また歴史街歩きに参加したい」などの声が寄せられた。



\*\*\*\*\*

## 四季の料理

### ～パン（食事パン）でプチフルコースをいただきます～

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 四季折々の薬膳料理を学ぶ。
- 期間 平成30年5月22日（火）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 材料費 800円
- 講師 ままごとキッチン 前田 純子 アシスタント 工藤公子
- 事業内容 薬膳料理とは何かを学び、旬の食材を使った体にやさしい薬膳料理を作る。

#### ○まとめ

申し込みは、午前中に15名の応募が殺到しキャンセル待ちを5名とった。

当日のキャンセルが出たが14名参加だった。レシピは、なんでもパン、白身魚の洋風煮込み、なんでもスポンジだった。パンは、強力粉、ドライイースト、砂糖、水、バターを入れて混ぜ、生地をこね10分間発酵をしておいた。丸いパン、クロワッサン、フォカッチオなどの好きな形を作った。一つの基本の生地を覚えるとどのようなパンも作れる事を学び班ごとにそれぞれの形を作った。白身魚の洋風煮込みは、オリーブオイル、トマト、玉葱、鱈、じゃがいもの順番に重ねて20分～30分弱火で煮込み蓋をし蒸した。

ケーキは、材料をハンドミキサーでふわふわになるまで泡立て、小麦粉をいれて混ぜ合わせ200℃で4分焼いた。冷ました後、スポンジを巻きクリームを塗り簡単に作る事が出来た。3種類の料理は、講師のわかりやすい説明と手際のよい教え方で、受講者からも見栄えもよく花の飾りつけもきれいで、パンからデザートまでのフルコースを作り、受講者からは美味しいとの声があがった。



\*\*\*\*\*

## 押し花体験講座

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 色紙に押し花を作成し額に入れ飾る。  
クリスマスカードと年賀はがきを押し花で作ろう。
- 期間 平成30年11月27日火曜日
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 講師 ふしぎな花倶楽部 唐木 富美子
- 事業内容 大切な人に送る華やかなクリスマスカードと年賀はがきを押し花で作ろう。
- まとめ

押し花の花材は、クズの実・アジアンタム・レース白たい菊・アイビー・はぎの葉・ゴーヤのつるひげ・初雪草の葉・ハーブの葉・花みずきの葉・ミニキンギョ草・バーベナ・カラスのえんどうの葉・南天の葉・野のすみれ・梅の花・クローバー・ミニケイトウなど20種類以上を使った。初めにクリスマスカードを作った。花材をハガキに書いてある植木鉢の中心に合わせてもみの木を貼り、下に苔をおいていった。ツリーの装飾品（ミモザなど）クリスマスシールを貼りクリスマスカードを完成させた。年賀状は、ハガキに好きな花材を使い文字が重ならないように季節にあった花材を使い仕上げた。押し花の作り方は、花を採集してから5日間かけて乾かし、花をコーティングするレジン液を塗り、長期保存のため乾燥剤を用いる事を学んだ。



\*\*\*\*\*

## クリスマスケーキ講座

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨           スポンジの焼き方を学びケーキを作ります。
- 期                   間       平成30年12月18日火曜日
- 時                   間       午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員         市内在住又は在勤の方・12人
- 参加者             12人
- 講師                さくらんぼの会   貝森 伸子  
                          アシスタント   吉田 昌子   能登 三樹子
- 事業内容           ふかふかのスポンジを焼きチョコレートケーキとクッキーを作ろう。
- まとめ

チョコレートケーキとクッキーを作った。あらかじめ分量を計った材料を分けておいた。各班にアシスタントが入りサポートにまわった。ふかふかのスポンジを焼くには、講師の指示にしたがいレシピ通り一つ一つ丁寧に作った。やわらかいスポンジになるには、卵を泡立てる時に固めに泡立てる。スポンジを焼いた後、しっかり冷ませる。スポンジを2枚にカットするには、横を2センチ程立てに切り口を入れておくなどを学んだ。焼き上がったスポンジにチョコレートをコーティングするコツを教えてもらった。クッキーは、薄力粉をしっかりとふるいバターを白っぽくなるまでよく混ぜ砂糖を分けて入れるポイントなどを教わった。受講者からは、「簡単でとてもふかふかのスポンジが焼き上がった。」「また開催してほしい」との声があがった。



\*\*\*\*\*

## 「歌の宅配便」コスモス学級公開講座

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨      コスモス学級のPRを兼ねて公開講座にし、懐かしい歌声で良き時代に思いをはせる。
- 期            間      平成30年9月28日    (金)
- 時            間      午前10時～正午    (計2時間)
- 対象・定員    市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者        74人
- 講師          「歌の宅配便」 広井 顕真
- 事業内容      今年のテーマ「色の歌 特集」

「色の歌」を特集し、最後にオリジナル曲「がんばれ」を演奏。

### ○ま と め

毎年、高齢者学級「コスモス学級」の最初に公開講座形式にして、広くコスモス学級をアピールするコンサートである。

「白い色は恋人の色」、「黒い花びら」、「赤いハンカチ」、「銀色の道」など16曲を披露していただいた。

途中で、「ふるさと」、「上を向いて歩こう」、「青い山脈」を皆で歌った。

演奏前に歌の説明や色の数が白・黒でも何十種類もあり、全ての色は500種類もあるなどの話もしていただき、最後にオリジナルソング「がんばれ」を披露していただき、懐かしそうに聴いていた。

参加者からは、「話はおもしろいし、歌は昭和の懐かしい歌が多くて楽しめた」、「歌声がよかった」などの声が寄せられた。



\*\*\*\*\*

## 「日本人の神と仏」コスモス学級公開

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 日本伝統の神様（神道）と中国から仏様（仏教）受容の歴史などについて学ぶ
- 期間 平成30年10月5日・12日（金）（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 90人 参加延べ人数156人
- 講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫
- 事業内容 コスモス学級の2回目と3回目を公開講座とし、「日本人の神と仏」を取り上げた。

### ○まとめ

5日の講義では、聖徳太子時代に仏教が日本に伝来し、神と仏は別のものであったが、奈良時代に神仏が融合され、明治になり神仏が分離される。

宗派により戒名（法名）料の値段の違いや葬儀費用などの話もしていた。

12日の講義では、皇室だけで神道を守り続けている。日本人の神に対する姿勢で禊・祓は悪を祓う。キリスト教の信者は、洗礼を受けて名前が変わるが、仏教は死んで名前が変わる。仏様は人間を救い、神様は祈れば帰ってくる等神仏観について講義をしていただいた。



\*\*\*\*\*

## 水彩画を学ぶ

### 下保谷四丁目特別緑地保全地区（高橋家屋敷林）

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 趣味で水彩画を始めようとする方又は、すでにやっている方についてアドバイスし、より技術を追求し、生きがい、仲間作りを目指す。
- 期間 平成30年5月24（木）
- 時間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 10人
- 講師 水彩画家 南雲 義男
- 事業内容 高橋家屋敷林の風景を描き、午後0時15分に集まり、全員の作品を並べて、講評を聞いた。

#### ○まとめ

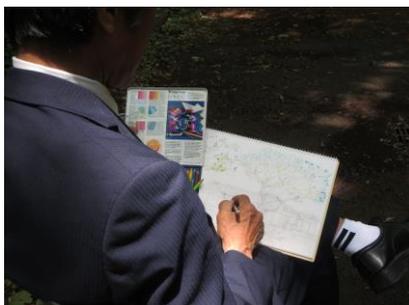
前日からの雨も明け方には止み、予定通り開催することができた。

午前9時45分に保谷駅改札前に集合し、徒歩5分の下保谷四丁目特別緑地保全地区（高橋家屋敷林）でのスケッチ。

初めに、講師からスケッチの描き方の説明があり、その後、各自気に入った場所を選んでスケッチを始めた。講師は、参加者のスケッチしている所を回り、描き方や色の使い方などを指導していた。

参加者の中には、絵の具を使用せず、色鉛筆の先に水をつけ絵の具代わりに使用したり、描き終わった後にサインや印を押している人もいて、楽しみながらスケッチをしていた。

午後0時15分から、「木々を描く時少し建物を入れるとよい」、「構図は上手く描けている」、「色合いが少し濃かった」などの講評を行い終了した。



\*\*\*\*\*

## コスモス学級

\*\*\*\*\*

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 おおむね55歳以上の方を対象に、生きがい発見の場とする。

○期間 平成30年9月28日～11月9日 毎週金曜日（計6回）

○時間 午前10時～正午

○対象・定員 市内在住又は在勤のおおむね55歳以上の方・80人

○参加者 81人 参加延べ人数501人

○事業内容

回	月日（曜）	内 容	講師
1	9月28日（金）	公開コンサート「歌の宅配便」	広井 顕真
2	10月5日（金）	公開講座 「日本人の神と仏」	小澤 富夫
3	10月12日（金）	公開講座 「日本人の神と仏」	小澤 富夫
4	10月19日（金）	笑いを遊ぶ	北沢 正嗣
5	10月26日（金）	折り紙「干支の猪を折る」	本多 秀子
6	11月9日（金）	館外学習 和紙の里ひがしちちぶ、晴雲酒造	

○ま と め

1回目の公開コンサートは、赤・白・青・グリーンなどの色の歌をテーマに16曲唱った。受講者は、時代時代に流行した歌を懐かしそうに聴き一緒に唱った。

「日本人の神と仏」では、神と仏に対する日本人の宗教と風土に対する考え方や特性を学んだ。

笑いを遊ぶでは、落語のおちについて学んだ。

干支の猪を折るでは、猪の牙の所まで順番にしっかり折った。鼻の部分を折る折り方は、手が混んでいて講師に聞きながら来年の干支猪を折り上げた。

館外学習の和紙の里では、職人の手ほどきをうけ紙すき体験が出来た。